

時延引外し特性

配線用遮断器に過電流が流れますと、過電流引外し装置が過電流である事を検出し過電流の大きさに応じて、決められた時延をもって回路を自動遮断します。

時延引外し特性はJIS（日本工業規格）、電気用品の技術上の基準を定める省令等に定められており表の通りです。

この時延引外し特性をそなえる過電流引外し装置には種々のものがあり、それぞれ特徴をそなえております。テンパール配線用遮断器も、用途・容量に応じそれぞれ最適の方式を採用しております。

適合規格	遮断器の定格電流 (A)	動作時間(分)		
		定格電流の 100%の電流	定格電流の 125%の電流	定格電流の 200%の電流
電気用品の 技術上の基 準を定める 省令 JIS C 8370	30以下	動 作 せ ず	60以内	2以内
	30を超え 50以下		60以内	4以内
	50を超え 100以下		120以内	6以内
	100を超え 225以下		120以内	8以内
	225を超え 400以下		120以内	10以内
	400を超え 600以下		120以内	12以内
	600を超え 800以下		120以内	14以内
	800を超え1000以下		120以内	16以内
	1000を超え1200以下		120以内	18以内
	1200を超え1600以下		120以内	20以内
	1600を超え2000以下		120以内	22以内
	2000を超えるもの		120以内	24以内

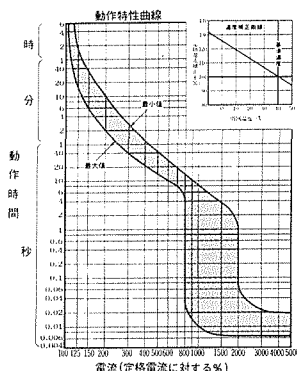
基準周囲温度

テンパール配線用遮断器の引外し装置は、JIS規格などにより定められている40℃を基準として調整されています。

〔一部、安全ブレーカタイプで25℃を基準とした製品もありますので、ご確認ください。 (JIS適合)〕

動作特性曲線

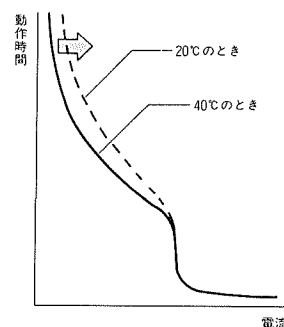
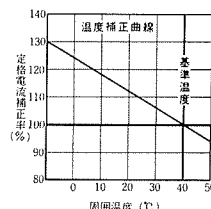
動作特性曲線は過電流の大きさと、動作時間の関係を示したものです。特性曲線に幅があるのは、動作時間がその範囲内にあることを表わします。



周囲温度補正曲線

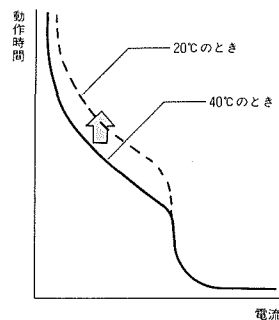
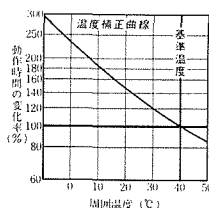
■熱動式・熱動電磁式の場合

基準周囲温度以外で使用される場合温度補正曲線により定格電流の補正を行って下さい。



■完全電磁式の場合

基準周囲温度以外で使用される場合動作時間が変化します。温度補正曲線により補正して下さい。



開閉耐久性能

JIS規格では右表のように開閉耐久回数を決めています。テンパール配線用遮断器はこの性能を十分に満足しております。

〔詳細については、JISC8370を参照〕

フレームの大きさ	開閉ひん度 (回/時)	開閉耐久回数(回)		
		通 電	無通電	合 計
100A以下	360	6,000	4,000	10,000
225A	300	4,000	4,000	8,000
400A、600A	240	1,000	5,000	6,000
800A	120	500	3,500	4,000
1000A	60	500	2,500	3,000
2500A	60	500	2,000	2,500
5000A	60	400	1,100	1,500